

川特だより

<学校教育目標>

『ひとりだちする生徒

～社会的に自立できる心豊かな人間を育成する～』

<めざす学校像>

『生徒一人一人の自立を育てる 笑顔あふれる学校』

「命」、生きることはそれだけで100点満点です。
～真剣に考えて欲しい命と性の話～命の授業を行いました。

6月20日、愛和病院より現役の助産師の方々をゲストティーチャーにお招きし、命の授業を行いました。将来の自立に向け、ひとりひとりが、かけがえのない大切な存在であることや命の尊厳や大切さ、避妊や性感染症についての正しい知識を身に付けることがねらいです。性については、動物と違い、人間の性交は、ただ子孫を残すことが目的でないことを「性交」＝「心」＋「生」＋「交」であり、互いの「心」が一番大切であることを大変わかりやすくごく自然に説明していただきました。命の始まりについては、望まない妊娠を避けるために女性がノーといえる勇気を持つこと、男性は、女性からのノーを認めてあげる勇気が必要であることを学びました。最後は、スライドショーで母子や家族の写真とともに「顔も体も手も足もみんなちがっていい、みんな大切にされなければならない存在、あなたは、自分の力で生まれてきた、あなたは、あなたのままでいい、あなたはかけがえのない存在、もし、あなたに何か起きたら助けを求めて下さい、必ず助けてくれる人がいる、生きることはそれだけで100点満点」と綴られた詩が朗読されました。感動し、涙する生徒も少なくありませんでした。私自身も胸にこみ上げてくるものを感じ、産んでくれた母に、そして育ててくれた両親にあらためて感謝しました。

「素直で元気で明るい子」 企業の人事担当者が求める人物像です。

6月21日、ハローワーク川越の学卒担当者様を講師にお迎えし、進路講演会を行いました。30名を超える保護者の皆様にご参加いただきました。講演の中で、今、企業が求める新卒者の人物像について説明がありました。①コミュニケーション能力②協調性③基本的な生活態度が求められており、具体的には、①報連相ができる力、②組織の一員として働く力、③休まず遅れず安定して業務をこなせる力を兼ね備えた人物であるとのことでした。まさしく、保護者会や進路だよりでも度重ねお伝えしている社会人として必要な資質です。端的に言えば、「素直で元気で明るい子」であり、企業の人事担当者の方から何度となくお伺いしている人物像である「辞めない、いい子」とすっきりと重なります。講演後、校長室で話をお伺いする中で、採用側が最も重視していることこそ「笑顔とあいさつと素直さ」なのだそうです。

本校で、ひとりだちに向け、つけさせたい力は、「健康を保つ力、人と関わる力、働き続ける力、人生を楽しむ力、自己選択・自己決定できる力」に代表されますが、まさにここでいう「人と関わる力、働き続ける力」が問われているのです。どの力も一朝一夕に身に付く力ではありません。どの力も意図的、計画的、継続的に少しずつ確実につけていかなければならない力であり、本校では全教育活動を通じて取り組んでいます。24日に14社をお迎えした「企業向け見学会」でも企業の採用担当者様から本校のこうした取組と本校生徒のあいさつ力等を評価いただきました。ご家庭や日常におきましても意識して取り組んでいただければと思います。あいさつは、知識や技能、経験を問いません。継続し、習慣化することこそが定着の早道であると考えます。

余談ですが、先日、川越商工会議所の会報「CLASSIC」6月号で、本校の進路指導と教育実践が特集されました。先日の保護者会でも紹介させていただきましたが、こちらでも高い評価をいただくことができました。

今後とも保護者、地域の皆様、関係者の皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

校長 阿部 和彦